

グローバルCOEは、文部科学省および日本学術振興会を通して実施するプログラムです。大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤のもとで世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力のある大学づくりを推進することを目的としています。人文科学領域では平成19年度全国12拠点が審査のうえ、選定されました。



お茶の水女子大学
Ochanomizu University



格差センシティブな人間発達科学の創成

お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム

お茶の水女子大学グローバルCOE事務局
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 文教1号館103
TEL / FAX 03-5978-5247
E-mail jimu-gcoe@cc.ocha.ac.jp
ホームページ <http://ocha-gaps-gcoe.com/>



お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム

格差センシティブな人間発達科学の創成



拠点リーダー
耳塚寛明



本拠点は、人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻を中心に、格差にセンシティブ(敏感)な人間発達科学の創成と、その担い手となるソーシャル・ジャスティス(社会的公正)にセンシティブな人間発達研究者、特に女性研究者の養成を目的として形成されました。共有化された課題認識(図1)のもと、格差再生産のメカニズムを科学的に解明することを通じて、社会的格差を是正することが人間発達科学の今日的使命となります。生涯にわたる発達過程に社会的公正の観点から組織的に取り組む拠点は、わが国ではユニークであるのみならず、国際的にも独創性を有するものです。

■事業推進担当者

耳塚寛明	浜野隆	菅原ますみ
大森美香	小玉重夫	坂元章
内田伸子	榎原洋一	平岡公一
三輪建二	米田俊彦	坂本佳鶴恵
大森正博	簗倫子	小西行郎
李基淑	DINH HONG THAI	
池田まさみ	王杰	垂見裕子

1. 格差の存在

- ・心身の発達と健康
- ・学力
- ・進学
- ・就職機会
- ・生活の質(QOL)

子ども自身の**努力の及ばない要因**によって生み出されている
不平等な発達機会:
スタートラインの異なる競争へ
差異は、**単なる差異**ではなく、
まさに是正されるべき
格差として存在

2. 再生産される格差

親から子へ世代を越えて
再生産される格差

図1 共通テーマ

人間発達の時間軸をつらぬく格差の次元を3つのレベル(図2)に設定し、それぞれについて、発達の時間軸ごとに、教育学・心理学・社会学からのマルチアプローチによって格差の再生産構造を浮かび上がらせると共に、その解明と構造転換への道筋を探究します(図3)。

お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム

人材育成

格差是正の普遍的モデル

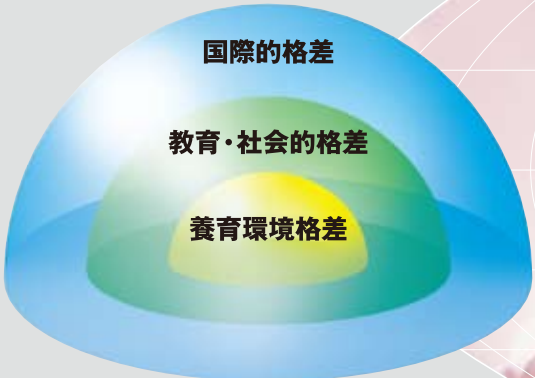


図2 社会的格差の3領域

第1の国際的格差領域では、グローバリゼーション下における国際的格差の構造に着目し、国際的格差構造の解明とその是正のための教育支援のあり方を発達の各ステージに即して解明します。

第2の教育・社会的格差領域では、教育や職業を通して現れる格差のメカニズムを明らかにすることが課題です。主に教育学的、社会学的視点から、学力格差の構造、トランジション(移行期)における格差、老年期における格差等を扱います。

第3の養育環境格差領域では、養育過程における家庭や保育・教育施設の中での環境と個人との時系列的な相互作用に着目し、人間の発達に沿ったケア・クオリティやQOL(クオリティオブライフ)に現れる格差について、主に心理学的視点からその解明をめざします。

格差センシティブな人間発達科学の創成

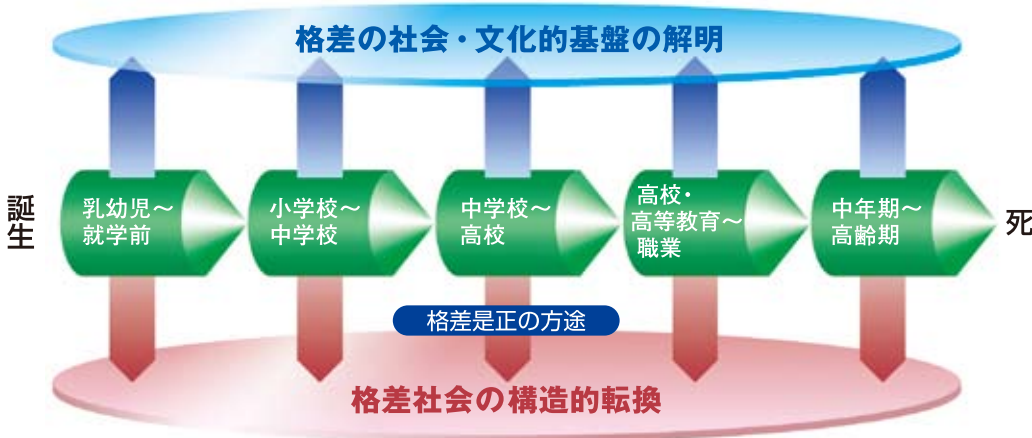


図3 世代を超えた“社会的格差”の再生産のメカニズムの解明

自立的研究

研究公募制度
連携機関との交流
交換留学制度
セミナーの実施

発表機会

研究発表支援プログラム
・英語論文作成
・プレゼンテーション
海外学会派遣

生活支援 研究プロジェクト 参加

国際水準の研究に従事
(RA・RFほか)

連携

お茶大型学位取得促進プログラム:
ステージ制

図4 基盤教育プログラム

人材育成計画は、研究者養成の基礎となる基盤教育プログラム(図4)と、本拠点がめざすソーシャル・ジャスティスにセンシティブな新しい研究者養成のための革新教育プログラムから構成されます。革新教育プログラムでは、実践現場との協働研究プログラムをたて、研究世界と実践世界との異質性、緊張関係を前提としたうえで、両者が協働=コラボレートする協働研究プログラムを構築します。

3つの格差領域と研究活動